

Photo.EDITORIAL NETWORK



トヨタが売るアトレーフ

これが9月28日に発表されるアトレーフのOEMモデル「スパーキー」のナマ写真だ。マスクを変えることで差別化が図られ、ベースモデルとの違いが鮮明に現れている。

ボディ同色
ドアハント
(除くX-Jパッケージ)

名前は

スパーキー

デュエット、キャミに続くOEM第3弾が

9月28日デビュー

リアではコンビランプとガーニッシュ部分に変更されており、明らかに異なった表情になっている。市販時には車名エンブレムも装着されるだろう。

●スクープ短信● 次期レジェンド用のV8エンジンが開発ストップになった。V6エンジンの完成度を高めるのが先決と判断されたため。

SCOOP 10

軽

自動車のアトレーをベースに、コンパクトサイズで7人乗車を可能にしたアトレー7が、親会社トヨタから「スパーク」のネーミングで9月28日に発売される。デビューを間近に控え、スクープ班がナマ写真入手に成功したので、詳細とともにその全貌をお届けしよう。

スパークの売りは小さくて扱いやすいボディサイズに、7人が乗車できるキャビンスペースを融合させたことだ。最小回転半径も4.6m

とファンカーゴの5.1mを下回ってワゴンRやムーヴと同レベルに収まっている。

ユーザがもっとも気になるのはアトレー7との相違点だろう。スパークではフロントグリルの開口部が拡大され、ヘッドランプにも丸型リフレクターが用いられてトヨタ車共通の表情に仕上がっている。また、バンパーが専用デザインに変わっているのも見逃せないポイントだ。リアでもコンビランプとガーニッシュ

た印象がもし出されている。内装ではシート表皮がスポーティな柄に変わり、インパネの木目調パネルも黒っぽい色に。さらに、オプションでMOMO社製本革巻きステアリングホイールが選べるのもスパークだけの特徴だ。

グレード展開は、「X」と「G」の2タイプに集約され、それぞれにアルミホイールやリアスポイラーをセッ



ナンバープレート両脇にバックアップランプが配置されたヴィッツRSのリアビュー。

読者がヴィッツRSのCM撮影に遭遇!

北海道の福本さんから「稚内近辺にある防風雪用ドームでパネルトラックを見かけ、そのまま走り続けたら、路肩に変わったヴィッツが停まっているのに気づきました。ナンバープレートもなく、男性タレントらしき人物がいたのでCM撮影をやっていたと思います」とのスクープ情報とともに、ビデオ映像が送られてきた。スクープ班が分析したところ、10月号で報じたスポーツグレード「RS」であることが判明。リアバンパー内蔵のバックアップランプが識別点だ。福本さん、ありがとう!



内装ではシート表皮が専用品となり、アトレー7に比べてスポーティな雰囲気になっている。

スパークだけの5つの特徴

金属調パンチングメタルグリル

丸型マルチリフレクターヘッドランプ

スポーティバンパー

●OEMベースのアトレー7

メッキガーニッシュ

リアコンビランプガーニッシュ

